

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
51101	無限の可能性開発講座Ⅰ Developing Communication & Social SkillsⅠ	全教員		共通	1	必修	1前期
科目の概要							
建学の精神に基づき、一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで引き出せるよう、本学が教育の一環として取り組んでいる教育システム「学びの泉」を通して「知性・徳性・身体・感性・行動」を鍛える。また、実際に子どもにかかわる実践演習などを通して、保育者としての知識や技術を身につける。全学生を小グループに分けて各教員がゼミ形式で担当し、学生生活や学習活動の支援を行い、保育者を志す人としての人間形成の礎を築く。							
学修内容				到達目標			
① 建学の精神である真心・努力・奉仕・感謝の四大精神を理解する。 ② 社会人基礎力、Pisa型学力についての理解を深め活用する。 ③ 授業に積極的に参加し、社会人基礎力の能力要素を高める。 ④ 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを身に付ける。 ⑤ 学生同士や教員との信頼関係の基礎を築く。				① 建学の精神である真心・努力・奉仕・感謝の四大精神を理解し、行動することができる。 ② 社会人基礎力、Pisa型学力を理解し、活用することができる。 ③ 社会人基礎力の能力要素を高めるための行動をすることができる。 ④ 保育者として必要な知識や技能や立ち振る舞いを身に付け、行動することができる。 ⑤ 学生同士やと教員との信頼関係を築き、協力することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。					
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。					
	実行力	子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。					
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。					
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。					
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。					
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。					
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。					
テキスト及び参考文献							
「キャンパスライフ」 「おもいでぐさ」 「学泉ノート」							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：系列ごとの各専門科目や学外実習などすべての科目において関連性がある。							
学修上の助言				受講生とのルール			
・クラス単位の活動もあるため、各学生が積極的に参加し、学生自ら社会人基礎力の能力要素が身に付くよう努力すること。 ・気がついたことは、何でもノートや資料にメモすること。				・ゼミ学生相互の努力と円滑なコミュニケーションが必要になる。他者への真心と感謝をもって心を持って受講すること。 ・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	40	①	✓			課題1「新入生歓迎会を終えての感想とあなたの『チームで働く力』についての課題」
				②	✓			課題2「おもいでぐさ」感想及び自己課題について「社会人・保育者としてどうあるべきか」
				③	✓			課題3「ゼミ企画と実践を終えての感想とあなたの社会人基礎力の課題」
				④	✓			課題4「社会人基礎力についての自己評価と今後の課題」
				⑤	✓			各10点
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			・子どもを楽しませる術の実践「絵本、紙芝居、折り紙」の発表
				②	✓			・ゼミ企画「チームで働く力を高める」の企画案の作成・発表
				③	✓			・ゼミ企画「チームで働く力を高める」の実践
				④	✓			・与えられた課題に対し積極的に取り組んでいるか評価する。
				⑤	✓			・準備作業やグループワークにおいて、周囲の状況に配慮した取り組みができるか評価する。 各10点
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。（主体性）		
		②	✓			・子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。（実行力）		
		③	✓			・保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。（課題発見力）		
		④	✓			・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。（創造力）		
		⑤	✓			・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。（発信力）		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。（傾聴力）	
			②	✓			・遅刻・無断欠席など、学修意欲活所をきたす行動をせずに、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席する場合は事前に連絡をし、フォローレポートの提出ができる。（規律性）	
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
社会人基礎力の12の能力要素を理解し、能力を修得するための十分に習得し、必要に状況に応じて活用でき、保育者として必要な基本的な知識や技能、を習得し、実践的に応用できる。 総合評価90点以上S（秀）、89～80点A（優）	社会人基礎力の12の能力要素を理解し発揮できる、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得できている。 総合評価79～70点B（良）、69～60点C（可）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・全体オリエンテーション ・クラス・ゼミ別オリエンテーション	演習 クラス別グループディスカッション 質疑応答による授業内容のフィードバック	授業内容とその目的が理解できる。クラスでの討議に参加できる。	(予習) キャンパスライフを熟読しておく。 (復習) キャンパスライフについて、わからない点をまとめ質問する。	60	主体性
2	知識を活用し問題を解決する力と自己の行動特性を認識する。 ジェネリックスキルテストを実施する。 ・全体セッション	演習 テスト 質疑応答授業内容のフィードバック	ジェネリックスキルテストに真剣に取り組むことができる。	(予習) ジェネリックスキルとは何か、調べておく。 (復習) テストを振り返り、苦手な領域、得意な領域を把握しておく。	60	主体性 実行力
3	チームで働く力を高める① 1・2年生合同ゼミ	演習 学生の相互評価 振り返りレポート作成と提出	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(予習) チームで働く力を発揮する方法を具体的に考えておく。 (復習) 振り返りレポート作成と提出	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	チームで働く力を高める① 1・2年生合同ゼミ	演習、実技 実技についての相互評価 振り返りレポート作成	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。 振り返りレポートを作成し、提出することができる。	(予習) チームで働く力を発揮するにはどうするかを考えておく。 (復習) 授業の振り返りを通して、今後の課題を発見する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	創始者自伝「おもいでぐさ」を読み、建学の精神(真心・努力・奉仕・感謝)について学ぶ。また「おもいでぐさ」の感想を通して自己の日常の行動を振り返り、今後の課題を明らかにし、レポートとして提出する。「学びの泉ノート」を通して、社会人基礎力やPisa型学力について学ぶ。 ・全体セッション	講義 質疑応答による授業内容のフィードバック グループディスカッション	創始者自伝「おもいでぐさ」を通して建学の精神を理解することができる。 Pisa型学力や社会人基礎力について理解を深めることができる。	(予習) 社会人基礎力を育む学泉ノートを熟読しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	ジェネリックスキルテスト結果におけるリテラシーとコンピテンシーについて学ぶ。 自己分析結果を通して、今後の課題を明らかにする。 ・全体セッション	講義 質疑応答による授業内容のフィードバック	リテラシーとコンピテンシーの自己分析結果を通して、今後の課題を明らかにすることができる。	(復習) 自己分析結果を通して明らかとなった今後の課題について、解決方法や取り組みについて考え、まとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	個人面談①を実施する。 面談を通して、自己をみつめなおし、今後の課題を発見し、解決に向けての目標を考える。 ゼミ別セッション	面談 事前アンケートのフィードバック 質疑応答による授業内容のフィードバック	学習面・生活面・将来の方向性について、課題を発見し、解決に向けての目標を明確にすることができる。	(予習) 前半の生活及び学修等について振り返る。 (復習) 面談内容を通して、今後の課題を明らかにし、課題解決に向けての具体的な方法を計画する。	60	主体性 発信力 傾聴力
8	子どもが興味関心を持ち、楽しめる表現方法について学ぶ。 「絵本、手遊び」のついて、基本的な内容を理解し、子どもが楽しめる表現方法を修得する。 ・クラス別セッション	演習 質疑応答による授業内容のフィードバック グループディスカッション	具体的な課題に対し自らの力で取り組み今後の課題を発見することができる。	(予習) 選択したものをくり返し練習をする。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	社会人としてのマナー講座 社会人として身に付けておくべき基本的なマナーを修得する。 ・全体セッション	演習 ロールプレイング 学生相互の評価	マナー講座を通して、実習や学外活動に求められる基本的なマナーを身に付けることができる。	(予習) 選択したものをくり返し練習をする。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	子どもが興味関心を持ち、楽しめる表現方法について学ぶ。 「絵本、手遊び」の発表を通して、自分の表現についての課題を発見する。他学生の発表を通して、様々な表現方法を学ぶ。 ・クラス別セッション	演習 クラスごとに全員発表 学生相互の評価	実践課題に対し、主体的に取組み、発表することができる。 他者の表現	(予習) 発表課題を準備、練習してくる。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	チームで働く力を高める活動内容をクラスごとに検討し、決定する。 ・クラス別セッション	演習 全体ディスカッション グループディスカッション	クラスの討議に参加することができる。他者の意見を尊重し、傾聴することができる。	(予習) チーム力を高めるための活動内容を考えておく。 (復習) 活動内容を実践するための計画案を作成する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミで企画しチームで働く力を高める活動の実践計画を立てる。役割分担を決定し、準備活動に取り組む。 ・クラス別セッション	演習 グループディスカッション 全体ディスカッション	クラス討議やグループ討議に協働意識を持って、参加することができる。 計画案を発表することができる。	(予習) 自分の役割を把握し活動がスムーズに進行するかを考える。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	チームで働く力を高めるクラス活動を実践する。 ・クラス別セッション	演習 活動実践 全体ディスカッション	クラス企画の実践に、協働意識をもって参加することができる。	(予習) ゼミ企画に対しての自分の考えを用意する。 (復習) ゼミ企画の実践に向けて準備する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	個人面談①を実施する。 面談を通して、自己をみつめなおし、今後の課題を発見し、解決に向けての目標を考える。 ・ゼミ別セッション	面談 事前アンケートのフィードバック 質疑応答による授業内容のフィードバック	学習面・生活面・将来の方向性など後期に向け課題を発見することができる。	(予習) 前半の生活及び学修等について振り返る。 (復習) 面談内容を通して、今後の課題を明らかにし、課題解決に向けての具体的方法を計画する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	15回の授業を振り返り前期試験実施方法について理解し、試験への意識を高める。 ・全体セッション	講義 演習	15回の授業を振り返り、学んだことや今後の課題について、まとめることができる。 前期試験実施方法について理解することができる。	(予習) 今までの活動を振り返り、自己評価する。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	60	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
51102	無限の可能性開発講座Ⅱ Developing Communication & Social SkillsⅡ	全教員		共通	1	必修	1後期

科目の概要

無限の可能性開発講座Ⅰで学んだ建学の精神に基づき、社会人基礎力の能力をさらに高め、人ひとりの潜在能力を引き出す。実際に子どもにかかわる実践演習などを通して、保育者としての知識や技術を身につける。全学生を小グループに分けて各教員がゼミ形式で担当し、学生生活や学習活動の支援を行い、保育者を志す者としての人間形成の礎を築く。

学修内容	到達目標
① 建学の精神に基づき、社会人基礎力についてさらに理解を深め活用する。 ② 実技演習課題において社会人基礎力の能力要素を意識して活用する。 ③ 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを身に付けた学生生活を送る。 ④ 学生同士やと教員との信頼関係の基礎を築き協働する。	① 建学の精神に基づき、社会人基礎力の理解をさらに深め、活用することができる。 ② 社会人基礎力の能力要素を十分に発揮して参加することができる。 ③ 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを習得して学生生活を送ることができる。 ④ 学生同士やと教員との信頼関係を築き協働することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。
	実行力	子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

テキスト及び参考文献

「キャンパスライフ」
「おもいでぐさ」
「学泉ノート」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：系列ごとの各専門科目や学外実習などすべての科目において関連性がある。
資格との関連はないが、修得し身につけることによって資格により相応しい人格者となる。

学修上の助言	受講生とのルール
・ゼミ形式で行う内容が多いため、各学生が積極的に参加し、学生自ら社会人基礎力の能力要素が身に付くよう努力することが望まれる。 ・気がついたことは、何でもノートや資料にメモすること。	・ゼミ学生相互の努力と円滑なコミュニケーションが必要になる。他者への真心と感謝をもって心を持って受講すること。 ・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	45	①	✓			課題1「園児とのいもほり実践の感想と自己課題」 課題2「社会人・保育者としての責務」 課題3「ゼミナール中間報告会についての感想」 課題4「園児とのかかわり実践についての感想と自己課題」 課題5「『学びの泉』グランプリで学んだこと」 ・保育者として必要な基礎力の要素を中心にレポート作成し、各ゼミ教員が添削を行い文章表現力も高める。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓			・個人プレゼンテーションを評価する。 ・指導案作成発表「子どもたちとの関わり実践指導案」とその実践を評価する。 ・与えられた課題に対し積極的に取り組んでいるか評価する。 ・準備作業やグループワークにおいて、周囲の状況に配慮した取り組みができるか評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。（主体性） ・子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。（実行力） ・保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。（課題発見力） ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。（創造力） ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。（発信力） ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。（傾聴力） ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。（規律性）	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
社会人基礎力の12の能力要素を理解し、この能力を十分に習得し、必要に状況に応じて活用でき、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得し、それを実践的に応用できる。 総合評価90点以上S（秀）、89～80点A（優）	社会人基礎力の12の能力要素を理解し発揮できる、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得できている。 総合評価79～70点B（良）、69～60点C（可）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 芋ほり活動について理解する。芋ほりでの役割分担について話し合い、決定する。 ・全体セッション→クラス別セッション	演習 クラスディスカッション	授業内容とその目的が理解できる。 クラスディスカッションに参加できる。	(予習) 社会人基礎力を育む学泉ノートを再読する。 (復習) 今後の授業計画について確認する。 芋ほりの役割内容を確認する	60	主体性
2	園児たちとのかかわり実践① 園児と芋ほりを行う ・全体セッション	演習 グループディスカッション 振り返りレポート作成	芋ほりに参加する子どもたちの様子を観察することができる。芋ほりを通して園児と関わることができる。	(予習) 芋ほりの流れと役割担当内容を確認しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	園児たちとのかかわり実践① 園児と芋ほりを行う ・全体セッション	演習 グループディスカッション 振り返りレポート作成	芋ほりに参加する子どもたちの様子を観察することができる。 芋ほりを通して園児と関わることができる。	(予習) 芋ほりの流れと役割担当内容を確認しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	個人面談③ ・ゼミ別セッション	面談 事前アンケートのフィードバック 質疑応答	学習面・生活面・将来の方向性について、課題を発見し、解決に向けての目標を明確にすることができる。	(予習) 大学生活や学修について振り返り、反省点を明らかにしておく。 (復習) 面談内容を通して、今後の課題を明らかにし、課題解決に向けての具体的方法を計画する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会人としての責務、自己の役割を明確にすることについて学ぶ。 ・全体セッション	演習 振り返りレポート作成	社会人としての責務、自己の役割を明確にすることができる。	(予習) 社会人としての責任と役割について、考えておく。 (復習) 授業内容を振り返り、学んだこと、今後の課題をレポートにまとめ、提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	幼児学ゼミナール中間報告会 ・全体セッション ・2年生ゼミとの合同授業	演習 プレゼンテーション 振り返りレポート作成	ゼミナール活動について理解できる。 自分が興味関心のあるゼミナー活動について考えることができる。	(予習) 自分が興味関心のある活動は何か、考えておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	75	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	園児たちとのかかわり実践② クラスごとに、子どもたちとの関わり実践の企画立案を行う。 ・クラス別セッション	演習 グループディスカッション クラスディスカッション	園児たちが楽しめる活動を考え、実践に向けて企画立案をすることができる。 クラス討議に参加することができる。	(予習) 園児と関わり実践の企画を考案する。 (復習) 企画内容をシートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	園児たちとのかかわり実践② クラスごとに、子どもたちとの関わり実践の企画を決定し、準備を行う。 ・クラス別セッション	演習 クラスディスカッション グループディスカッション	園児たちが楽しめる活動の実践に向けて、企画を決定し、準備することができる。 クラス討議に参加することができる。	(予習) 園児と関わり実践の企画を考案する。 (復習) 企画内容をシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	園児たちとのかかわり実践② クラスごとに、子どもたちの姿を予想し、活動案に沿ってリハーサルを行う。 ・クラス別セッション	演習 クラスディスカッション グループディスカッション	園児たちの姿を予想し、活動の進行ができる。 他学生と協力し、活動に参加することができる。	(予習) 自分の役割を意識しシミュレーションしておく。 (復習) リハーサルを振り返り、課題解決の方法を考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	園児たちとのかかわり実践② クラスごとに、園児たちと計画に沿って活動する。 ・クラス別セッション	演習 クラスディスカッション グループディスカッション	園児たちとの活動に参加し、園児たちの安全に留意しながら、働きかけができる。 他学生と協力し、活動に参加することができる。	(予習) 自分の役割を意識しシミュレーションしておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「学びの泉」グランプリに参加し、四大精神・社会人基礎力・pisa型学力について理解を深める。 ・全体セッション	プレゼンテーション 学生による評価 振り返りレポート作成	建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力について理解を深めることができる。	(予習) 四大精神・社会人基礎力・pisa型学力について理解を深める。 (復習) 振り返りレポートを作成し提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	2年生による研究保育報告会 保育現場での具体的な実践活動について学ぶ。 ・ゼミ別セッション	演習 質疑応答 全体ディスカッション 振り返りレポート作成	2年生の発表を集中して聴くことができる。 保育現場での具体的な実践活動の方法が理解できる。	(予習) 保育実習Ⅰの主活動案を考えておく。実習について質問したいことをまとめておく。 (復習) 振り返りレポート作成と提出	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	個人面談④を実施する。	面談 事前アンケートのフィードバック 質疑応答	学習面・生活面・将来の方向性について、課題を発見し、解決に向けての目標を明確にすることができる。	(予習) 大学生活や学修について振り返り、反省点を明らかにしておく。 (復習) 個人面談を振り返り、大学生活や学修についての課題を明らかにしておく。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
14	無限の可能性開発講座ⅠとⅡを振り返り、社会人基礎力修得と保育者としての個々の課題を理解する。 ・全体セッション	演習 自己評価 授業評価アンケート	社会人基礎力修得と保育者としての個々の課題を理解することができる。	社会人基礎力修得と保育者としての個々の課題を理解することができる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会 ・全体セッション ・2年生との合同授業	演習 振り返りレポート作成	演習 振り返りレポート作成	(予習) 各ゼミナール紹介文を熟読しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、提出する。	75	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力